

# 「全国ファシリテーター実態調査」概要報告

2007年5月27日

FAJでは平成15年8月の設立から、3年以上経過しファシリテーションがどのような分野で、どのくらい普及してきたのか。また、ファシリテーターとして活躍の会員の皆さんがファシリテーションをどのように捉え、どのように活用されているのかを把握したいと考え、会員の皆様のご協力のもと、アンケート調査を実施しました。おかげさまで190名の方より回答をいただきましたので、速報版として概要をご報告します。詳細は本年度、発行予定のファシリテーション白書に掲載します。

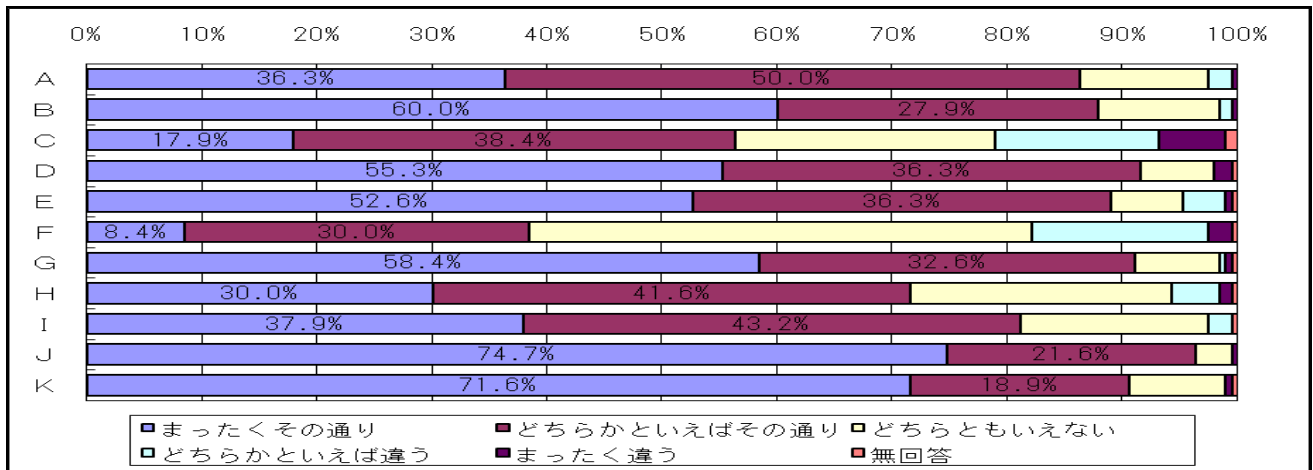
1. 調査目的 ファシリテーションの普及実態の把握
2. 調査対象 日本ファシリテーション協会会員
3. 調査期間 2007年2月26日～4月14日
4. 調査方法 会員メーリングリストおよび各地域定例会での配布・回収
5. 回収結果 190件
6. 調査結果の概要

## (1)回答者の基礎情報

. 職業			. エリア				
	回答数	構成比		回答数	構成比		
1	民間企業	104	54.7%	1	関東圏	84	44.2%
2	公務員	13	6.8%	2	中部圏	24	12.6%
3	教育関係	12	6.3%	3	関西圏	50	26.3%
4	独立事業者	38	20.0%	4	中四国圏	2	1.1%
5	NPO系	8	4.2%	5	九州沖縄圏	25	13.2%
6	学生	7	3.7%	6	東北・北海道圏	4	2.1%
7	その他	7	3.7%		無回答	1	0.5%
	無回答	2	1.1%		合 計	190	100.0%
	回答者数	190	100.0%	. 定例会への参加状況		回答数	構成比
. 年齢				回答数	構成比		
			1	毎回	21	11.1%	
1	10代	2	1.1%	2	年に8回以上	49	25.8%
2	20代	17	8.9%	3	年に4回以上	50	26.3%
3	30代	63	33.2%	4	年に2、3回	30	15.8%
4	40代	71	37.4%	5	ほとんど参加していない	30	15.8%
5	50代	26	13.7%		無回答	10	5.3%
6	60代以上	11	5.8%		合 計	190	100.0%
	無回答	0	0.0%	. ファシリテーションの活用領域		回答数	構成比
	合 計	190	100.0%	1	仕事での会議、ミーティング	150	78.9%
. 性別				回答数	構成比		
1	女性	51	26.8%	2	地域活動	25	13.2%
2	男性	129	67.9%	3	趣味の会合	15	7.9%
	無回答	10	5.3%	4	その他	34	17.9%
	合 計	190	100.0%		無回答	3	1.6%
					回答者数	190	100.0%

質問 と については複数回答あり。

## (2)ファシリテーションについて



- 凡例) A:あなたはファシリテーションを意識的に使っていますか？  
 B:あなたの周囲でファシリテーションの必要性が増していると思いますか？  
 C:あなたの周囲ではファシリテーションについて知っている人は増えていますか？  
 D:あなたの周囲でファシリテーションを学んで欲しい人がいますか？  
 E:あなたの周囲の人にファシリテーションについて伝えたことがありますか？  
 F:ファシリテーションを説明する際にうまく伝えられていますか？  
 G:ファシリテーションを学んだことが役立っていますか？  
 H:ファシリテーションのスキルは高まったとお思いますか？  
 I:ファシリテーションを学んであなた自身は変わったとお思いますか？  
 J:今の社会や地域でファシリテーションは必要だと思えますか？  
 K:ファシリテーション協会へ継続的に加入したいですか？

## (3)定性コメント(代表例)

### 1. どんな場面でファシリテーションの有効性を感じますか？

- ・プロジェクトの初期段階においてメンバーの意識を統一する際に特に有効だと思います。
- ・組織・人を融合させて新しいものを産み出すとき（硬直した思考、行動の打破）
- ・やり方が固定化した、古い風土の組織に風穴をあける。

### 2. ファシリテーションを学んであなたの中で変わった、成長できたという体験をお聞かせください。

- ・仕事での会議・ミーティングにおいて、傾聴できるようになった。
- ・人にはそれぞれ異なった考え方や感じ方があり、それを避けるよりも利用して組織の方針や活動に利用するようになりました。そのおかげでイライラが解消し、むしろみんなの力が結集できるようになり参加度合いも高まっているように思います。

### 3. ファシリテーションを行なううえで、特に強化したいスキルはどのようなスキルですか？

- ・方向性がまとまらない意見がずらずら出た場合に、みんながピンとくる言葉で言い表す力や図に表す能力
- ・スキルはもう十分では、どちらかと言うと、人間性、他人を受け止めることができるための器は大きくしたい。

### 4. ファシリテーションスキルを今後どのような分野で活用してゆきたいですか？

- ・あらゆるステージ、人が集るところ、会議あり、そして、そこには、ファシリテーションがある!!?べきですから。
- ・仕事でももちろん、ごく身近な、家庭内から始まり、地域活動、PTA 活動、サークル活動

### 5. ファシリテーションを普及させてゆくために、自分自身に取り組んでいることをお聞かせください？

- ・実際にファシリテーションを使って、自然に効果を実感してもらう。(名刺で)ファシリテーターを名乗っている。
- ・機会があったら、ファシリテーションを勉強していることを話すようにしています。
- ・社内で、ファシリテーションをサブ・テーマにした勉強会を主宰しています。

### 6. ファシリテーション協会が、さらに会員や社会のために役立つようになるにはどのようなことが求められるとお考えですか。

- ・他の団体とのコラボレーション。ファシリテーションはどのような団体でも必要ははず。コラボレーションすることで、ファシリテーションが普及し、FAJ自体の幅も広がるのではないのでしょうか。
- ・現在会員に対して、インターネット上に各ブロックの活動予定、例会報告等が送られてきますが、地域のメンバーにとって、計画性やFAJ全体の取り組みとしてまとまったものが不明確で、単発的な情報にしか見えません。会員も多く、やりたいことも多種類におよび、皆が満足する企画を立てるのが難しくなっているとおもいます。ゆえに、希望する分野ごとに価値あるファシリテーション技術を習得できる会合を計画的に実施し、地域ごととの連携も必要と感じます。
- ・スキルを求める人ばかりが研ぎ澄まされていくのは否めないが、現場を持つ人との間に壁が見えた。

以上